様式第２－１－５号　　　　　　　5 スモン　臨床調査個人票 　　　 　　　（1.新規）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ふりがな |  | 性別 |  | 生年月日 |  |  |
| 氏名 |  |
| 住　　所 | 郵便番号電話　　　　（　　　）　　　　　 | 出 生都道府県 |  | 発病時在住都道府県 |  |
| 発病年月 |  |  | 初診年月日 |  |  | 保険種別 |  |
| 診　　断 | 1. スモン　　　　　2. その他 |
| キノホルム服用歴 | 1. あり　　　　　　2. なし　　　　　　3. 不明 |
| 発症直後で最重症時の状況 | (1)視力1. 全盲 2. 明暗のみ 3. 眼前手動弁 4. 眼前指数弁 5. 軽度低下 6. ほとんど正常 7. 不明 (2)歩行（＊車椅子使用含む）1. 不能 2. 要介助＊ 3. つかまり歩き 4. 松葉杖 5. 一本杖 6. 不安定独歩 7. 正常 8. 不明 |
| 現在の症状・所見 | (1)視力1. 全盲 2. 明暗のみ 3. 眼前手動弁 4. 眼前指数弁 5. 軽度低下 6. ほとんど正常(2)歩行（＊車椅子使用含む）1. 不能 2. 要介助＊ 3. つかまり歩き 4. 松葉杖 5. 一本杖 6. 不安定独歩 7. 正常(3)下肢の感覚障害 a. 自覚的異常感覚 1. あり (1. 高度 2. 中等度 3. 軽度) 2. なし 3. 不明 b. 他覚的感覚障害 1. あり (1. 高度 2. 中等度 3. 軽度) 2. なし 3. 不明(4)自律神経症状 a. 下肢皮膚温低下 1. あり 2. なし 3. 不明 b. 尿失禁 1. あり 2. なし 3. 不明 c. 大便失禁 1. あり 2. なし 3. 不明 |
| 合併症・その他 |  1. 眼疾患 2. 高血圧 3. 脊椎疾患 4. 四肢関節疾患 5. 肝･胆嚢疾患 6. 他の消化器疾患 7. 腎･泌尿器疾患 8. 心疾患 9. 骨折 10. 脳血管障害 11. 呼吸器疾患 12. 糖尿病 13. 悪性腫瘍 14. ノイローゼ 15. 心気的 16. うつ病 17. 認知症 18. 歯科疾患 19. その他( ) |
| 鑑別診断 | ①ギラン・バレー症候群②亜急性連合性脊髄変性症③ペラグラ ④急性間欠性ポルフィリン症⑤癌性ニューロパチー ⑥脱髄性疾患 ⑦抗結核剤ニューロパチー⑧脊髄炎 ⑨脊髄腫瘍 ⑩アミロイドーシス ⑪糖尿病性ニューロパチー⑫その他( ) | 1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない1.鑑別できる　 2.鑑別できない |
| 医療上の問題点 |
| 医療機関名医療機関所在地医師の氏名 | 電話番号　　　　　　（　　　　）　　　　　　　　記載年月日： 　 　年　 　月　 　日 |

* 「スモン健康管理手帳」の提示もしくは写しを添付してください。

※　裏面の認定基準を御確認ください。

事務処理欄（ここには記入しないでください。）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 受給者番号 |  |  |  |  |  |  |  | 審査 | 入力 |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　2021-04

特定疾患治療研究事業における認定基準

【スモン】

1 必発症状

(1) 腹部症状（腹痛，下痢など）

(2) おおむね，神経症状に先立って起こる。

(3) 神経症状

① 急性又は亜急性に発現する。

② 知覚障害が前景に立つ。両側性で，下半身，ことに下肢末端に強く，上界は不鮮明である。特に，異常知覚（ものがついている，しめつけられる，ジンジンする，その他）を伴い，これをもって初発することが多い。

2 参考条項

必発症状と併せて，診断上極めて大切である。

(1) 下肢の深部知覚障害を呈することが多い。

(2) 運動障害

① 下肢の筋力低下がよくみられる。

② 錐体路徴候（下肢腱反射の亢進，Babinski 現象など）を呈することが多い。

(3) 上肢に軽度の知覚・運動障害を起こすことがある。

(4) 次の諸症状を伴うことがある。

① 両側性視力障害

② 脳症状，精神症状

③ 緑色舌苔，緑便

④ 膀胱，直腸障害

(5) 経過はおおむね遷延し，再燃することがある。

(6) 血液像，髄液所見に著明な変化がない。

(7) 小児には稀である。